

参院選 歯科医療の争点

民主党政権への評価や社会保障をめぐる財源などを問う参院選の投票日が7月11日に迫っています。菅新政権の発足や新政党内乱など混迷する政局のなか、どのような選択が求められているのでしょうか。小澤力政策部長に語ってもらいました。(新聞部)

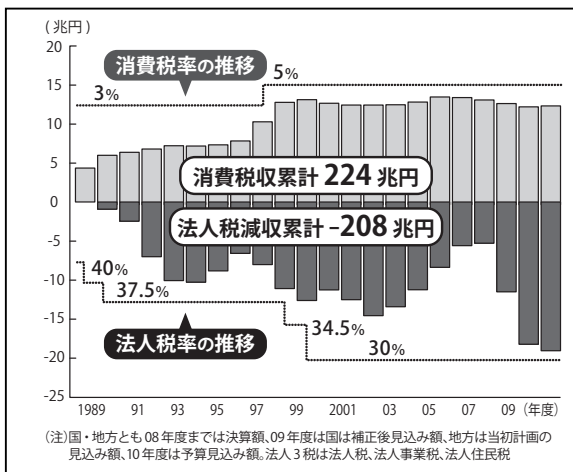
医療費抑制策を継続

「昨年、民主党政権交代から9カ月が経ちました。この間の民主党政権をどのように評価しますか。」

「私たち歯科医師や国民が懸命に訴え続けた社会保障費抑制路線が撤回されませんでした。診療報酬のプラス改定や子ども手当の創設など、政権交代によって前向きな変化が一部で見られます。これらは自公政権には考えられなかったことで、運動の大きな成果です。」

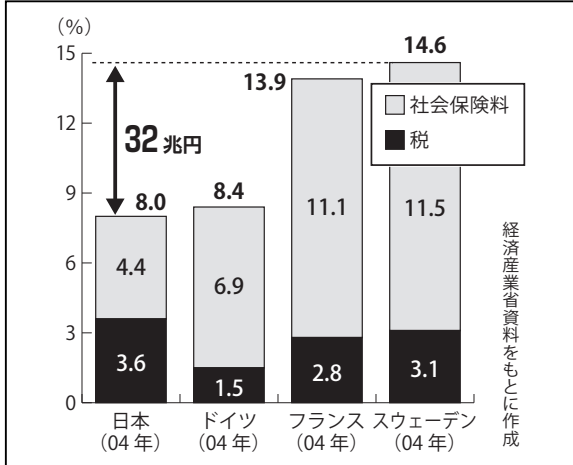
「一方で民主党政権は後期高齢者医療制度の廃止を先送りし、新制度では

図1 法人税減税に消えた消費税



財務省「法人企業統計」より作成

図2 日本の企業負担率は低い (対GDP比)



経済産業省資料をもとに作成

政治の中身変える選択を

消費税率10%で医院負担6倍超

「期待に背き、鳩山内閣は退陣に追い込まれました。首相が辞任したからといって、自動的に問題が解決されるわけではありません。国民の期待を

「肝心の問題で国民の期待に背き、鳩山内閣は退陣に追い込まれました。首相が辞任したからといって、自動的に問題が解決されるわけではありません。国民の期待を

「協会が5月に実施した診療報酬改定会員アンケート



協会副理事長・政策部長 小澤力氏

「トでは、4月の診療報酬が前年同月と比べて「下がった」「変わらない」が6割を大きく超えました。とりわけ、明細書加算や文書要件強化などへの「反対」の声が大

「トでは、4月の診療報酬が前年同月と比べて「下がった」「変わらない」が6割を大きく超えました。とりわけ、明細書加算や文書要件強化などへの「反対」の声が大

「トでは、4月の診療報酬が前年同月と比べて「下がった」「変わらない」が6割を大きく超えました。とりわけ、明細書加算や文書要件強化などへの「反対」の声が大

消費税増で法人減税

「菅新政権は「強い社会保障をつくる」ことを打ち出しています。菅氏は、前政権の副総理で、普天間基地移設問題などで公約違反に加担しました。財務大臣として、今年度の予算編成で社会保障費の増額幅を圧縮させた中心人物です。」

「強い社会保障」の財源を消費税に求め、「強い経済」と称して財界が要望する大幅な法人税減

社会保障展望し投票を

「参院選の一番の争点はどこにありますか。」

「構造改革」政治のなかで、労働者の34・1%が非正規雇用を余儀なくされ、ワーキングプアは3年連続で1000万人を超えました。生活保護世帯は昨年、130万の過去最高を記録。貧困と格差の拡大が止まりません。この10年で大企業の経常利益が15兆円から32兆円に増えた一方、雇業者報酬が279兆円から262兆円に大きく落ち込みました。

「国民の総選挙で「国民

(表) 各政党の参院選公約・政策から評価

	民主	自民	公明	共産	社民	国新	みんな	新改	たちあがれ	日創
診療報酬を引き上げる	○	○	△	○	—	△	—	—	△	△
後期高齢者医療制度を即時廃止する	△	×	—	○	○	—	△	—	—	—
患者窓口負担を軽減する	—	△	—	○	—	○	—	—	—	—
消費税を引き上げない	—	×	△	○	○	—	—	×	×	×
法人税を引き下げない	×	×	×	○	○	—	×	×	×	×
普天間基地を無条件撤去する	×	△	△	○	△	△	△	—	△	—

※「—」は公約に記載なし

「各政党の政策では、協会・保団連の要求に沿った」と思っています。

「各政党の政策では、協会・保団連の要求に沿った」と思っています。

「各政党の政策では、協会・保団連の要求に沿った」と思っています。

各党マニフェスト等から協会政策部作成